

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	P	芸術	美術	全	必修	1

#### 講座のねらい

いろいろなものを描いたり、作ったりしながら、造形的な表現の能力を伸ばし、創造の喜びを味わいます。

#### 使用教材及び問題集

教科書「美術1」 副教材「美術資料」

#### 授業の内容と進め方

絵画：身近なものを観察し、感じたことを表現することを学びます。  
 デザイン：色彩の基礎的知識を学び、発想力・画面構成力・色彩構成力を養います。  
 彫塑：身近なものを観察し、自分が感じた特徴の表し方を追求します。

#### 講座の到達目標

基本的な技法を体得していく中で、感動したり発見したりしながら、一人一人が自分の持ち味や個性を見だし、それを大切にしながら表現活動することを目指します。

#### 評価の観点・テスト・課題など

授業での作品と定期考査を総合的に評価します。作品内容はもちろんですが、どれだけ意欲的、積極的に授業に取り組んでいるか、という点も評価したいと思います。校外のコンクールの案内もしますので、進んで応募してみましよう。

#### 備考

美術の授業では課題に応じて必要な道具があります。事前に連絡しますので、各自忘れずに持参してください。（持ち物にはすべて名前を書きましょう。）

## 授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・オリエンテーション</li><li>・鑑賞：教科書の作品を味わう。</li><li>・デザイン1：色彩の基礎知識を学ぶ。</li><li>・デザイン2：ポスターカラーの使い方を学ぶ。</li><li>・中間考査実施</li></ul>
2 学期 学習計画および学習内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・デザイン3：色彩構成「身近なものを素材にして、発想を広げ、構成し、作品にする」</li><li>・中間考査実施</li></ul>
3 学期 学習計画および学習内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・彫塑：身近なものを粘土で塑像する。 「自然物や身近なものの特徴や美しさを工夫して表現する」</li></ul>